

伊藤圭介 いとう けいすけ 博物學・植物學者。理學博士。享和二年一月、二十七
 日尾張國生れ、明治二十四年一月、二十一自歿（一八〇三—一九〇二）。舊姓西
 山、諱洋氏・清民、字戴堯・圭介、通稱左沖・圭介。號太古山樵、花
 鏡書屋、錦窠、錦窠老人等。水谷豊又の本草學を、藤林普山の洋學を、
 うち長崎のP・F・シーボルトの博物學を學ぶ。「泰西本草名流」を
 著し、植物學用語へ綱・目・類・種・雄花・雌花・雄蕊・雌蕊・花
 粉ノ等々創案するゆゑ、東洋型本草學を（西洋型植物學へ）發展せし大功
 績多人。尾張藩醫、名古屋洋學館主宰、蕃書調所出役等を經く。明治
 十四年東京大學教授、二十四年男爵。

文献「錦窠翁米賀會誌」寄贈之書畫並出「四解説」（明治二十四年九月
 二十）「百立台百編刊」、吉川芳秋著「日本最初の理學博士尾張医科學文化の恩人伊藤圭介
 翁」（附刊）二十二年六月）二十日愛知・伊藤圭介先生頭訃云）等。